

Windows8 / 8.1対応!



マスターキーのある暗号化ソフト



# CyberCrypt®

Ver.4.1

人的ミスを100%防ぐことはできません。  
だからこそ「情報そのものを守ること」が大切なのです。

## 大切な情報は暗号化して守る!



メールの誤送信・パソコン盗難・置き忘れ・USBメモリの紛失

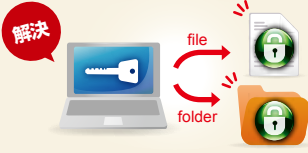
もう他人事では済まされない  
情報漏えいの危険が、すぐそこに!



# 日常業務に潜む「情報漏えい」の危険性を ファイル暗号化でしっかり防ぐ!

## パソコン内の機密情報を安全に取り扱いたい

ファイル指定での暗号化・復号のみでなく、フォルダも指定することもでき、フォルダ内の全ファイルを一括して暗号化・復号できます。操作は右クリックメニューだけなので簡単です。



## ファイル編集後に暗号化し忘れるのを防ぎたい

暗号化されたファイルを編集したあと上書き保存すると、自動的に暗号化して保存されます。ファイルを編集するたびに暗号化する必要はなく、暗号化のし忘れも防止できます。



## 機密情報をグループ内で共有したい

共通のグループを登録することにより、暗号化されたファイルをグループ内で簡単に共有することができます。



## 特定のフォルダを常に暗号化しておきたい

任意のフォルダを「自動暗号化フォルダ」として設定しておけば、このフォルダに格納するファイルはすべて自動的に暗号化されます。



## メールからの情報漏えいが心配

暗号化されたファイルをメールに添付することにより、メールを盗み取られても添付ファイルの内容を知られることはありません。(「自己復号形式」にも対応)



## USBメモリ等の盗難・紛失が心配

USBメモリ等の外部媒体に暗号化ファイルを保存しておけば、盗難・紛失が発生しても機密情報の漏えいを防ぐことができます。



## クラウド上のファイルも暗号化で安全に!



クラウド上のメールシステムに不正アクセスが行われても内容を読み取られることのない仕組みづくりが可能です。

## ウイルス感染による機密ファイルの流出が心配

ウイルス感染によるファイル流出が発生しても、ファイルが暗号化されているため情報を守ることができます。



## ファイル暗号化でしっかり情報を守っても、 暗号化したときの「パスワード」を忘れてしまっただけでは意味がありません!

「情報」は、企業・組織の資産です。暗号化した本人が不在、復号パスワードの紛失等、やむをえない事情が発生しても企業にひとつだけ配布される「マスターキー」を使えばすべての暗号化ファイルを復号することができます。また、パスワード管理のためのコストや手間がかからないので運用が容易です。これは他社製品にはない、CyberCryptだけの仕組みとなります。



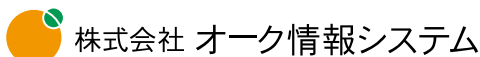
### 対応OS

- Windows 8.1 (64ビット版)
- Windows 8 (64ビット版)
- Windows 7 (32ビット版/64ビット版)
- Windows Vista (32ビット版)
- Windows Server 2003 (32ビット版)\*
- Windows Server 2008 R2 (64ビット版)\*

\* Windows Server 2003, Windows Server 2008 R2では、自動暗号化フォルダ(サービス)機能のみの提供となります。

### 暗号方式

- 公開鍵暗号方式: RSA暗号、鍵長 2048 ビット
- 共通鍵暗号方式: AES暗号、鍵長 256 ビット、ブロック長 128ビット
- ハッシュ方式 :SHA-256



株式会社 オーク情報システム

●Microsoft, Windows, Windows 8.1, Windows 8, Windows 7, Windows Vista, Windows Server 2003, Windows Server 2008 R2は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。 ●CyberCryptは株式会社オーク情報システムの登録商標です。 ●その他の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。 ●本資料に記載された内容に関する権利は、株式会社オーク情報システムに帰属します。 ●この情報は2013年12月現在のものです。